

日本モンゴル経済委員会

第51回定時総会議案

- 第1号議案 令和5年度役員選任の件
- 第2号議案 令和4年度事業報告書
- 第3号議案 令和4年度収支計算書
貸借対照表
監査報告書
- 第4号議案 令和5年度事業計画書
- 第5号議案 令和5年度収支予算書

令和5年(2023年)6月12日

第1号議案

日本モンゴル経済委員会
令和5年度役員選任の件

任期満了後再任となる役員の選任。

会 長 都梅博之 伊藤忠商事(株) 代表取締役副社長執行役員
機械カンパニー プレジデント(再任)

理 事 住友商事(株)
丸紅(株)
三菱商事(株)

監 事 西谷和雄 日本商工会議所 理事・国際部長(再任)

第2号議案

日本モンゴル経済委員会 令和4年度事業報告書

令和4年(2023年)4月1日～令和5年(2024年)3月31日

1. 情報収集・提供

モンゴルの経済・ビジネスに関する情報を収集し、会員に提供した。

(1)第5回勉強会資料配付 (令和4年(2022年)4月11日)

題名：2021年のモンゴル国の政治・経済および2022年の展望

著者：エンクバヤル環日本海経済研究所調査研究部主任研究員兼経済交流部主任研究員

(2)2021年モンゴル貿易レポート(令和4年(2022年)6月13日)

(3)第6回勉強会資料配付 (令和4年(2022年)6月13日)

題名：モンゴル政府の新復興政策

著者：藤井一範 FUSION CONSULTING LLC代表

(4)第7回勉強会資料「モンゴル経済・ビジネス関連ニュース第1号～第8号」配付
(令和4年(2022年)8月～令和5年(2023年)3月)

2. 交流事業

(1)モンゴル経済フォーラム2022(Mongolia Economic Forum 2022)に協力

(主催：モンゴル国政府) (令和4年(2022年)4月7日～8日、於：モンゴル国政府宮殿およびオンライン)

(2)フレルスフ・モンゴル国大統領訪日歓迎朝食会を開催

(令和4年(2022年)11月29日、於：ホテルニューオータニ東京)

日本・モンゴル外交関係樹立50周年記念行事出席のため訪日したフレルスフ大統領、バトツェツェグ外務大臣、ソドバータル大統領府長官、フレルバータル経済・開発大臣ら8名を招き、歓迎朝食会を開催した。経済委員会からは都梅会長をはじめ13人が出席した。

(3)第10回官民合同協議会

1)事前調査(令和4年(2022年)6月14日(火)～6月17日(金))

経済産業省、ジェトロ、経済委員会事務局からなる事前現地調査団をモンゴル・ウランバートルに派遣し、モンゴル国外務省、モンゴル国経済開発省、モンゴル商工会議所等を訪問し、第10回官民合同協議会の開催時期、開催方法、議題について協議した。

2)第10回官民合同協議会を開催(経済産業省、モンゴル政府、モンゴル商工会議所と共催、令和4年(2022年)11月30日(水)、於：ベルサール泉ガーデンギャラリー)

日本・モンゴル外交関係樹立50周年記念行事出席のため訪日したフレルスフ大統領を来賓に迎え第10回官民合同協議会を開催した。日本側からは、中谷経済産業副大臣、都梅会長をはじめ、会員企業、政府および政府系機関、在モンゴル日本商工会会員企業等より約80名が参加した。モンゴル側からは、政府および政府機関関係者、企業関係者ら約60名が参加した。協議会では、

フレルスフ大統領、中谷経済産業副大臣、フレルバータル経済開発大臣、秋本外務大臣政務官、アマルトゥブシン・モンゴル商工会議所会頭、都梅会長が開会挨拶を行ったのち、モンゴルの経済と投資環境、脱炭素・水素製造およびIT分野における協力の可能性などについて、双方の代表者が報告を行った。経済委員会からは、原事務局長が「日本企業のモンゴルにおける活動実績とさらなる発展への提言」と題する報告を行った。報告では、これまでの日本企業によるモンゴルビジネスの成果事例を紹介したほか、両国ビジネスのさらなる発展に向けた改善要望を示した。そして、「モンゴルビジネスにおける課題と改善要望書」をモンゴル政府に提出したことに言及し、今後もビジネス環境改善を目的とした対話を継続するよう、両国政府に支援と協力を呼びかけた。これに対し、フレルバータル経済開発大臣は、同省が投資環境整備や投資家権利保護に取り組んでいると述べ、2022年11月23日に行われた閣議において、2019年以来解決に至っていない外国投資家が抱える課題の解決の指示が出され、定期的に閣議で協議が続けられると説明した。また、経済委員会が示した改善要望の解決に取り組んでいく意向を示した。

3) 日本・モンゴル・ビジネスセミナーに協力

(主催：日本貿易振興機構、モンゴル商工会議所、令和4年(2022年)11月30日(水)、
於：ベルサール泉ガーデンギャラリー)

第10回官民合同協議会に続いて、日本・モンゴル・ビジネスセミナーが開催された。佐々木・日本貿易振興機構理事長、アマルトゥブシン・モンゴル商工会議所会頭、中谷経済産業副大臣、フレルバータル経済開発大臣が300名を超える聴衆の前で挨拶したのち、モンゴルにおいてイノベーション分野においてビジネスに取り組む日系企業が活動報告を行い、また、日本企業との連携を期待するモンゴル企業がプレゼンテーションを行った。ドゥーレン・モンゴル商工会議所副会頭が、鉱業以外の分野での加工産業の発展に向け、日本から技術を輸入し製品を生産し、日本に輸出したいと意欲を示した。

(4) 日本モンゴル外交関係樹立50周年記念事業

1) 日本モンゴル外交関係樹立50周年記念事業実行委員会モンゴル訪問団についての会合

日時：令和4年(2022年)5月24日(火) 14：00～15：00

会場：自由民主党本部

内容：日本モンゴル外交関係樹立50周年記念事業実行委員会モンゴル訪問団の組織、参加者、日程等についての協議し、次の事項を取り決めた。

① 団長：林 幹雄・衆議院日本モンゴル議員連盟会長

② 事務局：日本モンゴル外交関係樹立50周年記念事業実行委員会
外務省、自民党政務調査会

③ 参加人数：100名(議員、自治体、空港・航空関係者、企業(経済委員会、経団連)、大学、JA等

④ 日程：令和4年(2022年)8月20日(土)～24日(水)

⑤ 旅行手配：日本旅行業協会、日本旅行、風の旅行社

2)日本モンゴル外交関係樹立50周年記念事業実行委員会昼食会

日時：令和4年(2022年)7月6日(水) 12:30~14:30

会場：日比谷松本楼

主催：外務省アジア大洋州局 参事官 岩本桂一

内容：日本モンゴル外交関係樹立50周年記念事業の実施状況および準備状況
についての意見交換

3)日本モンゴル外交関係樹立50周年記念事業実行委員会主催モンゴル訪問団

(令和4年(2022年)8月20日(土)~24日(水))

訪問地 モンゴル国ウランバートル市およびテレルジ国立公園

参加者 団長 林 幹雄 衆議院日本モンゴル友好議員連盟会長

衆参両院議員計9名、武部 勤・前日本モンゴル衆議院友好議員連盟会長、自民党事務局、日本政府(内閣府、外務省、経済産業省、国土交通省、官公庁)、駐日モンゴル国名誉総領事、JICA、JATA、成田空港関連企業、日本モンゴル経済委員会、旅行会社ほか86名

内容 8月21日(日) 日本人死亡者慰霊碑、新モンゴル日馬富士学園、テレルジ国立公園内アロンゴツーリストキャンプ

8月22日(月) モンゴル国立民族歴史博物館、文化・芸能共同フェスティバル「白い道」(於：スフバートル広場)

8月23日(火) 日本・モンゴル大クリルタイ(会議)(於：モンゴル国外務省)
日本モンゴル外交関係樹立50周年記念レセプション
(於：ブルースカイホテル)

主な来賓 小林大使、歴代大統領、ソドノム元首相、バトツェツェグ外務大臣、エンフアムガラン教育大臣、友好議員連盟所属議員、日本モンゴル商工会幹部、日馬富士

4)フレルスフ・モンゴル国大統領訪日歓迎レセプション開催

(令和4年(2022年)11月29日(火)、於：明治記念館「蓬菜の間」)

日本モンゴル外交関係樹立50周年記念行事出席のため訪日したフレルスフ大統領と夫人を迎え、歓迎レセプションを開催した。日本側は、林 幹雄・衆議院日本・モンゴル友好議員連盟会長、山崎正昭・参議院日本モンゴル友好議員連盟会長、武井俊輔・外務副大臣、小林弘之・駐モンゴル日本大使、都梅博之・日本モンゴル経済委員会会長ほか、日本モンゴル外交関係樹立50周年記念事業実行委員会構成13団体の代表および各団体の会員約200名が参加した。

5)日本モンゴル外交関係樹立50周年記念事業実行委員会慰労会

日時：令和5年(2023年)1月26日(木) 13:00~14:30

会場：La scogliera

主催：外務省アジア大洋州局 参事官 岩本桂一

内容：日本モンゴル外交関係樹立50周年記念事業の総括

(5)ザンダンシャタル・モンゴル国家大会議議長訪日歓迎夕食会

(主催：参議院、令和5年(2023年)3月1日(水)18:30~20:00、於：ホテルニューオータニ)
都梅会長と原事務局長が出席した。

3. 会議の開催

令和4年度第50回定時総会を開催

(令和4年(2022年)6月13日(月) 16:00~17:15 於:如水会館 松風の間)

4. 会員状況

入会 なし

退会 2社 モンゴル貿易開発銀行東京駐在員事務所
野澤・中野法律事務所

会員数 9社 (増減 -2)

第3号議案

日本モンゴル経済委員会
令和4年度収支計算書

令和4年(2022年)4月1日～令和5年(2023年)3月31日

単位:円

科目	令和3年度決算額	令和4年度予算額(A)	令和4年度決算額(B)	増減(B-A)	備考
収入の部					
会費	1,650,000	1,650,000	1,650,000	0	(1)
官民合同協議会参加費	0	0	0	0	(2)
諸会合費	0	540,000	20,000	△ 520,000	(3)
受取利息	28	0	18	18	
当期収入合計	1,650,028	2,190,000	1,670,018	△ 519,982	
支出の部					
事務局運営費	800,000	800,000	800,000	0	(4)
官民合同協議会開催費	0	1,400,000	1,356,026	△ 43,974	(5)
外交関係樹立50周年記念事業実行委員会関連費	70,000	250,000	458,153	208,153	(6)
支払報酬	357,993	350,000	400,000	50,000	(7)
諸会合費	19,397	580,000	698,093	118,093	(8)
通信費	4,070	5,000	0	△ 5,000	
交通費	1,698	5,000	3,072	△ 1,928	
雑費	40,460	2,000	14,510	12,510	(9)
当期支出合計	1,293,618	3,392,000	3,729,854	337,854	
当期収支差額	356,410	(1,202,000)	(2,059,836)	△ 857,836	
前期繰越収支差額	2,242,372	2,598,782	2,598,782	0	
次期繰越収支差額	2,598,782	1,396,782	538,946	△ 857,836	

(注)

(1)の内訳:年会費 150,000円×11社=1,650,000円

(2)の内訳:第10回官民合同協議会の参加費を無料としたため計上なし。

(3)の内訳:フレルスフ大統領歓迎レセプション(2022/11/29)非会員の参加者からの参加費収入10,000円/人×2人

(4)の内訳:ロシアNIS貿易会に対する事務局運営費

(5)の内訳:第10回官民合同協議会開催費用(事前事務局出張費、会場設営費、会議費、資料作成料等)

(6)の内訳:外交関係樹立50周年記念事業実行委員会主催モンゴル訪問団への原事務局長の参加費用

(7)の内訳:勉強会配布資料原稿料およびモンゴル新聞記事翻訳料

(8)の内訳:定時総会開催費用、フレルスフ大統領訪日歓迎朝食会およびレセプション(2022/11/29)開催費用
ザンダンシャタル・モンゴル国家大会議議長訪日歓迎夕食会(2023/3/1)参加費用等

(9)の内訳:モンゴル通信(モンツァメ通信社)購読料、振込手数料

日本モンゴル経済委員会

貸借対照表

令和5年(2023年)3月31日現在

単位:円

I. 資産の部		II. 負債の部	
科目	金額	科目	金額
1.流動資産	538,946	1.流動負債	0
現金預金	538,946		
未収金	-		
2.固定資産	0	2.固定負債	0
		負債合計	0
		III. 正味財産の部	
		1.正味財産	538,946
資産合計	538,946	負債・正味財産合計	538,946

第4号議案

日本モンゴル経済委員会 令和5年度事業計画書

令和5年(2023年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日

1. 情報収集・提供

モンゴルの経済・ビジネスに関する情報を収集し、会員に提供する。

(1)2022年のモンゴルの政治経済および2023年の展望レポート

(令和5年(2023年)6月12日)

(2)第8回勉強会資料「モンゴル経済・ビジネス関連ニュース第1号～第4号」配付

(令和5年(2023年)4月～7月)

2. 交流事業

講演会・セミナー・企業間交流等、日本とモンゴルのビジネス交流の促進、および友好親善関係を促進する各種の行事を開催する。

(1)第11回官民合同協議会(於:ウランバートル)の開催に向けて、日本政府、日本貿易振興機構、モンゴル商工会議所、在日モンゴル大使館と協議する。

(2)モンゴル要人訪日(未定)に際して、歓迎レセプション等を開催する。

(3)第9回勉強会・懇親会(令和5年(2023年)10月～12月)の開催

(4)モンゴルに関するセミナーやビジネスイベント等(オンラインを含む)の主催あるいは開催に協力する。

3. 会議の開催

令和5年度第51回定時総会を開催

(令和5年(2023年)6月12日(月)16:00～17:15 於:如水会館 松風の間)

第5号議案

日本モンゴル経済委員会
令和5年度収支予算書

令和5年(2023年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日

単位:円

科目	令和4年度予算額(A)	令和4年度決算額	令和5年度予算額(B)	増減(B-A)	備考
収入の部					
会費	1,650,000	1,650,000	1,350,000	△ 300,000	(1)
官民合同協議会参加費	0	0	0	0	(2)
諸会合費	540,000	20,000	540,000	0	(3)
受取利息	0	18	0	0	
当期収入合計	2,190,000	1,670,018	1,890,000	△ 300,000	
支出の部					
事務局運営費	800,000	800,000	945,000	145,000	(4)
官民合同協議会開催費	1,400,000	1,356,026	0	△ 1,400,000	(5)
外交関係樹立50周年記念事業実行委員会関連費	250,000	458,153	0	△ 250,000	(6)
支払報酬	350,000	400,000	400,000	50,000	(7)
諸会合費	580,000	698,093	600,000	20,000	(8)
通信費	5,000	0	5,000	0	
交通費	5,000	3,072	5,000	0	
雑費	2,000	14,510	15,000	13,000	(9)
当期支出合計	3,392,000	3,729,854	1,970,000	△ 1,422,000	
当期収支差額	(1,202,000)	(2,059,836)	(80,000)	1,122,000	
前期繰越収支差額	2,598,782	2,598,782	538,946	△ 2,059,836	
次期繰越収支差額	1,396,782	538,946	458,946	△ 937,836	

(注)

(1)の内訳: 150,000円×9社=1,350,000円 2社(モンゴル貿易開発銀行東京駐在員事務所、野澤中野法律事務所)退会による減額

(2)の内訳: ウランバートルで官民合同協議会を開催する際は参加費を徴収しないので計上なし。

(3)の内訳: 勉強会・懇親会参加費3,000円×15名×2回= 90,000円
要人との会合会費 10,000円×15名×3回=450,000円

(4)の内訳: ロシアNIS貿易会に対する事務局運営費を800,000円から、年会費収入の70%に変更することによる増額
1,350,000円×70%=945,000円

(5)の内訳: 現時点では計上しないが、官民合同協議会を開催する場合は他費目から流用する。

(6)の内訳: 外交関係樹立50周年記念事業終了のため計上なし。

(7)の内訳: 勉強会講演料・原稿料、モンゴル新聞記事翻訳料等

(8)の内訳: 定時総会開催費用、勉強会・懇親会費用、要人との懇親会費用等

(9)の内訳: 振込手数料等